

164号

R6.3.15発行

西江原

公民館だより



第3回 甲山散策会



本年度の甲山散策会は「甲山八幡神社・新町旧山陽道めぐり散策会」と銘打って二月二十五日(日)に開催されました。

深夜の雨で開催が危ぶまれましたが、開催時には天気も曇り空に代わり丁度よいウォーキング日和となりました。

昨年に比べ参加人数は減ったものの六十名を越す町民の参加でした。今年も公民館から西側にある一橋江原陣屋跡・正一位稻荷神社・興譲館講堂・日芳橋記念碑等の旧跡を巡る約四キロのコースを巡りました。

参加者は史跡顕彰会の方々の説明に熱心に耳を傾けていました。散策終了後には、はつらつ学園の皆様による豚汁の接待に舌鼓をうっての和やかな散策会でした。



活力回復の令和五年度

西江原公民館長 片山 正樹

昇竜の辰年、令和六年になりました。町民の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、令和五年五月八日より新型コロナウイルス感染症の位置づけが五類感染症になり公民館の諸行事も通常どおり実施することができるようになった令和五年度でした。

諸行事開催にあたり町民の皆様方のご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

しかしながらこの諸行事が休止した期間が長かったため行事の内容や運営の方法の見直しを余儀なくされました。

特に公民館三大行事ともいえるふれあい運動会・納涼盆踊り・ふれあい広場において役員の交代が運営にも影響していました。そこで町民運動会の種目は市民体育祭の種目が変わ更されることに合わせ種目数を減らし、尚且つ小学校のプログラム中に四種目だけ入れさせてもらい午前中で終了することとし開催いたしました。選手選考の苦労も大幅に緩和されました。

納涼盆踊りも審査を止め、踊りをみんなで楽しみ、会に集った人たちが用意された花火を楽しみながらお盆のひとときを過ごすこと

ができました。従来使用していた櫓も簡易櫓に替えたため、準備時間が大幅に短縮されました。

秋のふれあい広場ではこれまでの運動場への舞台設定が困難との意見から運送会社から借用した大型車両を舞台として活用する案が了承され、しかも会場は埃の立たない公民館駐車場に変更して実施しました。各地域団体から申し出のあったテント設置により、ましまりの良い会場となりました。舞台演技発表も舞台使用を工夫され華やかな舞台発表ができました。

ただ、体育館での文化教室の方々による作品発表の数が減り少し寂しい展示でした。数年間休止していた影響が出ていたように見受けられました。

このように各種活動を見直しながらの令和五年度でしたが、これまでの賑わいが少しずつ取り戻され、西江原町の活力も取り返されてきたように感じられます。

次年度からも更に明るく安全で過ごしやすい西江原町になりますことを祈念致しております。

引き続き皆様の温かいご理解とご協力をお願いいたします。

令和6年 西江原公民館 新年互礼会



令和六年一月十二日(金)に猪原慎太郎副市長様をはじめ多数のご来賓をお迎えし、新年互礼会が開催されました。

昨年度はコロナ禍の関係で懇親会無しということでした。土曜日の午後開催されましたが、本年度は例年どおり懇親会を開催したため金曜日の夜開催になりました。

片山公民館が挨拶の中に万葉集最後の句に大伴家持が詠んだ「新しき年のはじめの初春の今日降る雪のいやしけ吉事」を紹介していただき新年を迎えました。

今年も辰年、物事が昇竜のごとく上向きに上昇していくことを願いながらの互礼会となりました。

西江原ふるさとのひな祭りを楽しむ会



二月二十六日(月)に西江原公民館集會室で西江原地区まちづくり協議会主催「ふるさとのひな祭りを楽しむ会」が老人会福寿クラブの皆様を招いて開催されました。

四年前には女性会の皆様のお世話による会でしたが、本年度は赤羽カフェのメンバーのご協力により開催されました。会場には七段のひな人形と西江原幼稚園四歳児の制作したひな人形が並べて飾られました。

プログラムでは、園児のひな人形の紹介や園児全員によるひな祭りの歌、さらに踊り「うらじゃ」が披露されました。またコーラスグループポールフロアによる「どこかで春が」の斉唱ほか、会の最後には全員で「幸せなら手をたたこう」と「ふるさと」を歌って楽しいひと時を過ごしました。

戸倉歩こう会

毎年三月に実施している戸倉歩こう会(第二十七回)を今年も三月三日(日)実施しました。

今年、「備中松山城へさんじゅーろーに会いに行こう」をキャッチフレーズに参加者を募集したところ五歳の幼児から八十五歳の方まで幅広い年齢層の四十三人が集まりました。

井原から高梁へは井原線と伯備線乗り継ぎ移動、高梁の街を散策し、途中からバスで峠まで向かい、最後は城まで急な山道を登りました。

山道は予想していた以上に長く急で、みんな

なしんどそうでしたが、城からの景色や風景の美しさに、疲れも吹き飛んだ様でした。



城ではさんじゅーろーに会うことが出来、みんなで記念写真を撮りました。お城で食べた弁当もおいしかったです。お弁当を食べた後、のんびり天守を散策し、帰路につきました。

今回も天候にも恵まれ、参加者同士が親睦を深め、子供たちも電車・バスをそして散策を楽しむことが出来、楽しいひと時を参加者全員で共有することが出来ました。

これからもこの様な楽しい歩こう会が続いて行われる事を願っております。

雄神川流域の自然と環境を護る会

仕田原 仁志



寄せ植え教室



今年も12月9日(土)に寄せ植え教室に挑戦しました。以前より何回かやっているので、手慣れたものでどんどんと思いのものが出来上がっていききました。もうちょっとと思われる作品も先生に少し手を加えていただきりっぱな作品が出来上がっていききました。

まちづくり報告

西江原地区まちづくり協議会

まちづくり協議会は、令和5年度も①「甲山はつらつ学園」では味噌づくり、大山への研修旅行、児童へのふるさと学習や昔遊びへの協力等々を行いました。②「雄神川の自然と環境を護る会」ではイルミネーション、雄神川の清掃、ホタルの幼虫の放流を行いました。③「神戸川を活かすとともに生きる事業」では花火大会、西新町公民館へのイルミネーションマッピングを行いました。④「ふるさとのレシピを探し活かす事業」では恒例になったふれあい市を4回行いました。それぞれの運営組織で、また、内容によっては連携協力して事業を行いました。

主な事業を写真で報告します。(事業名の○数字は、担当した上記④事業です。)



①はつらつ学園



①②③④大山視察



①寄せ植え



①四国八十八ヶ所巡り



①ペタンク・グラウンドゴルフ大会



①味噌づくり



②雄神川イルミネーション



②雄神川イルミネーション



③神戸川花火大会

- 大山 久夫
- 蔵内 秀和
- 山室 正
- 勘元 完二
- 三村 典子
- 山本 義信

〈編集委員〉

「公民館だより」一六四号をお届けします。新型コロナウイルスも落ち着いてようやく公民館活動もできた一年でした。来年こそは、すっきりとしてほしいと願うばかりです。

編集後記

西江原公式HP(西江原DO)

公民館だよりや史跡顕彰会報の新規分を掲載しています。さらに学級・文化教室の案内、西江原町民ガイドマップ案内、地域おこし協力隊ブログのコーナーを設定しています。それぞれを検索していただくと細かい内容を閲覧できます。

<https://nishiebara.com>

右のQRコード読み取りでスマートフォンからもご覧いただけます。

